

令和6年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織名称	消防本部
補職名・氏名	消防長 加藤 繁

組織目標兼管理職個人目標

目標		達成度
目標1	常備消防体制の確立 北消防署移転及び東濃5市通信指令共同運用に合わせた消防体制の充実強化のための組織、施設、人員の見直しによる消防力の向上	T2
目標2	火災予防行政の充実強化 火災ゼロを目指し火災予防行政の充実強化	T2
目標3	東濃5市消防通信指令事務共同運用及び他機関との連携協力体制の強化 消防指令センター設置及びに大規模災害時における他機関との連携協力体制の強化	T2
目標4	消防団の充実強化と処遇改善による活性化 団員確保と団活動活性化による「やりがいのある消防団」の実現	T3
目標5	救急業務のあり方の検討と救命率の向上 バイスタンダー市民を育成による救急体制の充実と救命率の向上	T3
b 独自目標加算 (任意設定) 例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動 等		

＜兼務比率記載欄＞
：

目標設定：令和 6 年 4 月 1 日
評価：令和 7 年 2 月 6 日

令和 6 年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織名称	消防本部 南消防署
補職名・氏名	署長 加藤 繁

組織目標兼管理職個人目標			達成度
目標	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	
目標 1 火災予防の充実強化 火災ゼロを目指し火災予防の充実強化	1. 違反是正指導及び立入検査、教育 ①重大違反対象物(工場等:17件)の改善、是正指導 ②特定防火対象物(第1種査察対象物:148件)で、防火管理者未選任、消防訓練未実施、消防用設備等点検結果未報告の改修率向上(100%) ③立入検査実施計画に基づく立入検査実施(210件) ④予防技術向上のための基本教育、実務者教育の実施 2. 小学校の命を守る訓練時に消防隊による訓練披露(将来消防士志望の動機付け) 3. 独居高齢者宅防火訪問 4. 命令履行期限経過対象物の催告書等交付(1件) 5. 火災図上訓練指導講習会の笠原署との合同開催	1. ①20件中9件改善、11件は是正指導(内命令2件) ②是正改修率100% ③210件中210件実施(実施率100%) ④基本教育20回、実務者教育6回参加、1回実施 2. 養正4/22、脇の島4/1、池田4/26、昭和10/27に実施済み 3. 231件実施 4. 命令履行期限後、予防課へ移管済み 5. 11/7に実施	T2
目標 2 各種災害等に迅速・確実・安全に対応するための消防体制の確立	1. 消防力強化のため各種訓練の実施 ①署長査閲訓練の実施 ②はしご自動車応援協定に基づく連携訓練の実施 ③隣接消防本部、岐阜県防災航空隊との合同訓練の実施 ④中高層建物火災訓練の実施 ⑤BC(パイオケミカル)災害対応訓練の実施 2. BC災害対応マニュアルの見直し・素案作成 3. 動画資料の追加及びQRコードの活用 4. 東濃5市救助技術発表会の実施 5. 緊急消防援助隊訓練参加(10月) 6. 管内全分団との合同訓練の実施 7. 水利点検の実施 8. 警防・救助資器材の適正な維持管理	1. ①木造2階建て一般住宅火災想定訓練を5/1と5/8に実施 ②中高層建物火災を想定し、土岐市7/2、瑞浪市11/8に実施 ③山岳救助(道樹山)想定で春日井市と1/30に、高所人命救助想定で瀬戸市東分署にて2/18実施、航空隊研修に12/18参加しヘリ救助方法研鑽 ④9/26・27実施、中高層火災技術向上 ⑤2/19、2/20実施、マニュアルに基づき技術向上 2. BCマニュアルを見直し・素案をキャビネットにアップ中 3. 新救助工作車資機材(TRR)マニュアルを16年振りに改正、資料追加QRコード活用 4. 1/28実施、中津川市内で土砂救助技術研鑽 5. 県大隊訓練10/2中止、中部ブロック訓練12/21・22実施 6. 6分団と合同訓練を実施(11/17、12/1、12/15、12/22) 7. 11月に点検完了、補修作業を実施中 8. 適正な維持管理を実施	T2
目標 3 救命率向上に向けた取り組み バイスタンダーの育成と救命率の向上	1. 救急救命講習会の実施 ①定期開催に向けた実施方法を検討し方針決定 ②講習の質の向上への取り組み 2. 応急手当推奨事業所 更新認定の精査を実施 3. 日勤救急隊の新規創設に向けた検討をし方針決定 4. 業務のDX化に向けた取り組み 5. 自署及び他署の救急事案の検証 6. 救命処置指導隊(メディックT)の育成指導 7. 救急指令課との連携 8. 救急資器材の適正な維持管理	1. 119回2711名に実施 ①logoフォームを活用し普通救命講習 I を11/9、11/14に開催 ②受講対象者に応じた救急講習内容を事前聴取し実施 2. 推奨事業所へのアンケートを実施、7件更新 3. 導入資器材の省力化に向けた検討、運用のための調査を継続 4. 救急救命教育動画資料を3件作成し訓練で活用、事後検証票の文書追跡を試行 5. 他署1574件の検証実施(1/7現在) 6. 勉強会を8回実施 7. 口頭指導検証会の実施、講習定期開催、日勤救急隊について連携し検討を継続 8. 適正な維持管理を継続中	T3
目標 4 地域防災力の強化 地震等の災害に備え地域防災力の強化	①多治見市総合防災訓練(養正校区)を関係機関と連携実施 ②多治見市水防訓練を関係機関と連携実施 ③街頭消火器点検(市民)報告後の維持管理 ④自主防災組織対象に防災訓練等の実施 ⑤防災倉庫の資器材維持管理(消防分) ⑥災害危険箇所調査を関係課と実施し職員へ周知 ⑦タイムラインの運用に基づく活動を実施	①9/7に実施 ②6/9に実施 ③市民主体の点検後に職員による維持管理を実施 ④地域における防災訓練等を6回実施 ⑤防災倉庫及び資器材の点検を1月に実施 ⑥6/17に実施し、職員へ周知実施 ⑦7/10にタイムライン検討会に参加、運用の再確認	T3
目標 5 安全管理の徹底とハラスメントの撲滅 災害現場等の事故防止及びハラスメントのない職場環境の整備	①5S+S、おもてなしの向上 ②ハラスメントのない職場環境の整備 ③公用車、私用車における無事故無違反の徹底 ④適切な公用車管理 ⑤訓練時、災害対応時における安全管理の徹底 ⑥災害活動後におけるPTSD対策の実施 ⑦個人情報の適正管理の徹底 ⑧安全、衛生会議を毎月実施 ⑨時間外勤務の削減 ⑩適切な予算管理と執行 ⑪体力錬成と熱中症対策を実施	①朝夕に庁舎内・外の清掃を実施。節電・節水を徹底。常時、子ども等の車両見学に柔軟に対応する ②ハラスメントには厳しく対応する方針を全員が共有する ③公用車3件、私用車3件事故発生・無違反継続中 ④車検等をはじめ、適切な公用車管理を実施 ⑤安全管理を徹底、公務災害2件発生 ⑥1次ミーティングを早期に実施 ⑦個人情報の適正管理を実施 ⑧安全、衛生会議を毎月実施 ⑨12/31現在517時間削減 ⑩適切な予算管理を実施 ⑪体力錬成、熱中症対策を実施	T3
b 独自目標加算 (任意設定) 例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動 等	(目標設定)	(成果)	

組織名称	消防本部	消防総務課
補職名・氏名	課長 大堀 泰宏	

令和6年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標			
目標		実施する業務の内容	成果（評定時に記入）
目標1	常備消防体制の確立	1.北消防署移転整備事業 ①建設工事の進捗管理(建設部局連携) ②建設工事開始に伴う地元説明会開催 ③移転に伴う各消防署管轄区域(出動区域)決定 ④現北署敷地境界登記及び地目変更 ⑤移転後跡地利用を検討し方針決定 2.職員適正配置にかかる研究 ①現職員居住制限及び新規採用要件見直し ②定年延長にかかる働き方を検討し方針決定 ③適正人員数算出(人員適正化計画) ④機構改革による消防組織再編 3.消防本部活性化計画(5箇年計画)確実な実行 4.就職説明会及び大学へ勧誘訪問実施 5.東濃5市消防通信指令業務共同運用に向けた協議 6.常備消防車両更新整備(南署査察車)	1.①9月議会承認後、建設、電気、機械の各工事の請負業者、監理業務請負者及び建築住宅課と週1回進捗状況の確認等を実施し遅滞なく着実に進行中(12月末 工事出来高:建設7%、電気0.3%、機械0.15%) ②7/29実施(参加住民13人) ③最終案作成中 ④土地合筆、土地地積更正及び分筆に係る登記完了 ⑤建物付で売却する方針を決定し不動産価値の有無を調査中 2.①年齢要件は拡充済。居住制限は継続研究中 ②新たな働き方として日勤救急隊創設決定 ③増員予定で人事課と協議中 ④R8年度から2課体制へ再編決定 3.計画に基づき進行中 4.上半期に大学6校訪問勧誘活動実施 5.法定協議会幹事会兼専門部会定例会開催、会長市事務局を補助し全体調整実施 6.12/24契約内容どおり納車済
	消防団の充実強化と処遇改善による活性化	1.団員の処遇改善及び負担軽減 ①手当支給対象見直し ②負担軽減策を検討し方針決定 ③消防団DX化研究 ④学生、市内高校3年生、事業団体等へ勧誘・募集活動 ⑤消防団活性化計画の確実な実行 2.市之倉分団車庫併設詰所移転整備事業 ①建設工事進捗管理(建設部局、関係課との連携) ②供用開始準備 3.非常備消防車両更新整備(池田・根本分団ポンプ車) 4.県消防協会と各種団体の調整 5.災害対応能力向上の研修、訓練計画立案及び実施 6.消防出初式等を通じた団員の士気高揚と市民PR 7.東濃地区消防連絡協議会の開催と連携強化	1.1/1現在426人充足率86.4%(4月から13人増)①12月議会条例改正しR7.4月からの出動報酬充実 ②行事等の事前訓練を廃止し負担軽減実施 ③出動時の時間管理・集計のDX化研究中 ④東濃西部地域消防団員確保推進協議会の設置により他市と連携し取組中(団員募集PR動画作成協力) ⑤計画に基づき進行中 2.①5月の工事契約後事故無く実施 ②12/19完成落成式実施(地元関係者等出席)、年末夜警から供用開始 3.9/30納車検査、10/3配属式実施 4.10/27県操法大会の訓練調整実施(共栄分団6位入賞) 5.10月から11月の間に全5方面隊が実践的訓練を実施 6.1/12消防出初式開催 7.2/28臨時の連絡協議会開催予定(県操法大会への各市団員使役派遣依頼の可否等を検討)
	訓練による人材育成及び消防防災体制の充実強化	①防火水槽耐震化・長寿命化計画に基づく調査実施(9基) ②調査結果による補強設計及び補強工事実施(2基) ③協定に基づく土岐市、瑞浪市とはしご車応援連携、近隣消防本部等と合同訓練実施 ④小隊活動、生物剤・化学剤特殊災害、中高層建物火災等各種訓練実施 ⑤県警防技術発表会、緊急消防援助隊合同訓練参加 ⑥市職員に対する災害対応能力訓練実施 ⑦火災検討会及び警防検討委員会(防火衣更新)実施 ⑧街頭消火器平準化及び維持管理推進	①9基調査完了、診断結果に基づき2基分の耐震工事を予算化、耐震不可である1基を廃止 ②2基の補強工事は3月中に完成予定 ③7/2土岐市、11/8瑞浪市、1/30春日井市と訓練実施 ④各署小隊訓練毎日実施中。中高層訓練9/26.27に県営住宅(取壊し建物)を使い実施、生物化学剤特殊訓練2/19.20に実施予定 ⑤10/31県警防技術発表会に参加。12/21.22緊援隊中部ブロック訓練に参加 ⑥6/9水防訓練参加職員に対し事前訓練実施 ⑦検討要の該当火災事案なし。11/13検討委員会開催 ⑧消火器424本更新済、区・町内会からの結果報告を受け不備事項は順次修繕中
	消防職員の研修、教育並びに健康、安全管理の推進	1.消防職員研修の計画及び実施 ①消防職員研修年2回実施 ②岐阜県消防学校入校事務及び調整 2.消防職員の健康管理 ①深夜業務従事者健康診断の実施 ②5種抗体検査実施及びワクチン接種 ③担当職員等による巡回健康相談開催 ④健康に関する各種研修参加 3.安全運転講習会の開催 4.ヒヤリハット、事故原因を究明し、再発防止 5.ハラスメント防止に関する規則の適正運用	1.①12/19.20違反是正研修(外部講師)実施 ②総合教育(初任科)及び専科教育入校、消防大学校入校、救命士養成所入所等調整を実施 2.①深夜業務従事者健康診断を適正に実施 ②B型肝炎等ワクチン接種を対象者に実施予定 ③健康診断結果後における再検査受診の呼び掛け実施 ④消防職員安全衛生研修会に参加 3.市職員対象の講習会への全消防職員受講の呼び掛け 4.全職員へ周知を行い再発防止実施中 5.適正に運用中、ハラスメント相談窓口員のオンライン研修会に参加
	消防職員の職務環境の改善	①建物安全点検の実施と修繕等による長寿命化 ②5S+Sの徹底 ③消防職員委員会の開催 ④本部会議の準備と開催 ⑤署外業務における無事故無違反徹底 ⑥各種担当者会議の開催 ⑦安全、衛生担当者会議の開催 ⑧新型コロナウイルス感染症他、感染防止対策の徹底 ⑨東濃地区総務、警防担当者会議の参加 ⑩時間外勤務の縮減	①点検毎月2回継続実施中 ②継続実施中 ③8/20消防職員委員会開催(審議1件) ④毎月2回継続実施中 ⑤課内で公用車事故1件発生、再発防止の徹底を図る ⑥4/22庶務、4/23警防、4/24防災担当者会議開催 ⑦後期に会議開催予定 ⑧5類以降は定期換気等必要に応じて対応 ⑨6/24東濃地区警防担当者会議、1/16同総務担当者会議に参加 ⑩メリハリある働き方により昨年同期に比べ大幅に縮減
b 独自目標加算 (任意設定) 例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動 等		(目標設定)	(成果)

＜兼務比率記載欄＞
：

目標設定：令和 6 年 4 月 1 日
評価：令和 7 年 2 月 6 日

組織名称	消防本部 予防課
補職名・氏名	課長 多治見基宏

令和6年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標				達成度
目標	課題	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	
目標1	火災予防行政の充実強化 火災ゼロを目指し火災予防行政の充実強化	1.違反対象物に対する是正指導 ①重大違反対象物をR6年度末でゼロ ②消防用設備等未設置対象物 ③消防訓練未実施対象物、消防用設備等点検未実施及び防火管理者未選任 ④履行期限経過対象物の催告書等交付 2.火災予防指導運用指針の策定及び公表 3.オンライン申請・電子化に対応した研究 4.予防技術向上を目的に実務者教育実施 5.違反は正実務研修【区分B】実施 6.防火対象物立入検査充実強化及び能力向上 ①本部台帳53件の実施 ②各署と連携し実施、育成指導 7.違反対象物公表制度の適正な運用	1.①重大違反対象物は正率88.4% ②消防用設備等未設置対象物20件設置指導 ③消防訓練未実施対象物10件中9件は正、消防用設備等点検未実施対象物7件中6件は正、防火管理者未選任対象物5件中5件は正 ④催告書交付1件、催告対象物は正完了 2.7月に見直し10/1運用開始並びに公表 3.6/19豊田岡崎両消防本部に視察。7月から建築通知を電子による受付開始、びったりサービスからe-Govへ移行準備（29項目から69項目に拡充）、Logoフォームによる電子受付2項目追加予定 4.6/6、危険物安全週間中の6/3から6/10まで延べ6日、8/29に実務者教育を実施 5.12/16から12/20まで【区分B】による実務研修を実施 6.①51件実施 ②立入検査の同行及び実務指導を実施 7.1件の新規公表対象物は正完了	T2
目標2	危険物施設等の安全管理 危険物施設等の出火防止及び事故防止	1.危険物施設の保安強化と規制事務の整備 ①危険物安全週間中の一斉自主点検実施 ②危険物施設の安全対策ガイドブックの作成 2.危険物施設原簿の見直し、整理 3.危険物施設への立入検査の実施(100件以上) 4.危険物不正貯蔵等の防止 5.危険物施設の各種許可認可事務 6.危険物積載車両等検査の実施 ①移動タンク貯蔵所 ②高压ガス積載車両 ③液化石油ガス運搬車両	1.①危険物安全週間中(6/3から6/10まで)に危険物施設全313施設の一斉自主点検を実施 ②安全対策ガイドブック作成完了及び配布完了 2.休止中施設を中心に見直しを行い、3施設廃止 3.危険物施設の立入検査を106件実施 4.危険物不正貯蔵等は現在0件 5.許可16件(変更含む)、完成検査を18件(変更含む)、仮使用承認6件実施 6.①秋の全国火災予防運動期間中に21台実施 ②11/8、11/11に計7台実施 ③10/9に54台実施	T2
目標3	危険物施設及び権限移譲等の予防体制の充実 危険物等の講習事務、保安検査	1.高压ガス保安検査 2.危険物取扱にかかる講習の開催 ①危険物取扱試験特別補充講習 ②危険物取扱従事者講習会 3.危険物安全協会事務及び活動支援 4.高压ガス施設、液化石油ガス施設、火薬類消費場所等の立入検査の実施(80件以上)	1.保安検査を6件実施、変更許可に係る完成検査2件実施 2.①5/24危険物特別補充講習実施、10/25第2回実施、1/31第3回実施 ②11/15従事者講習実施 3.危険物安全協会の事務及び活動支援を実施 4.高压ガス施設41件、液化石油ガス施設2件 火薬類消費場所等16件計59件実施。煙火消費場所の立入検査4件実施	T3
目標4	消防同意及び消防用設備等設置の是正指導 新設及び既設防火対象物への適正な指導	①消防同意の適正な事務執行 ②消防用設備等基準不適合の場合は是正指導 ③消防用設備等着工届、設置届の適正な事務執行 ④消防用設備等の消防検査の適正な実施 ⑤消防用設備等の設置指導、相談の適切な対応 ⑥消防用設備等の是正指導を推進するため研修会を実施	①消防同意62件実施 ②消防用設備の検査や相談において基準不適合な場合の指導を適正に実施 ③消防用設備等着工届118件、同設置届180件の事務処理を適正に実施 ④消防用設備等検査77件実施 ⑤新築、増改築等の事前相談による消防用設備の設置指導を適正に実施 ⑥11/1消防法令違反は正事例発表会に県代表として参加、12/18合同事例検討会を開催、12/19違反は正特別講演を開催	T3
目標5	火災予防広報の実施 あらゆる機会を捉えた火災予防広報活動	①住宅用火災警報器の普及啓発と維持管理の周知 ②予防運動時に消防長特別査察を実施と合わせて火災予防広報等の実施 ③独居高齢者宅の防火指導を福祉関係者と実施 ④火災予防啓発活動における火災予防作品展の開催 ⑤火災予防週間及び乾燥時等における巡回広報の実施 ⑥イベント会場における防火管理の徹底指導 ⑦各種関係機関会議の開催 ⑧幼年・消防クラブの活動支援 ⑨条例、規則改正の適切な事務の遂行	①5月に住宅用火災警報器の設置調査を実施(設置率81%) ②火災予防運動時に広報を実施予定 ③5/27民生児童委員理事会で防火訪問実施を依頼 ④9/11教育委員会の協力を得て作品展を実施、11/20～24パロー文化ホールにて作品展を開催 ⑤随時実施 ⑥指定催し及び危険物品持ち込み解除に係る審査、検査を適時実施 ⑦10/23東濃地区予防担当者会議出席予定 ⑧8/20県少年消防クラブリーダー研修会出席、12/20出初式事前訓練の実施、1/12出初式参加 ⑨建築同意事務取扱要綱、多治見市火災予防指導運用指針、多治見市火災予防査察規程の改正。予防業務マニュアル及び火災原因調査報告要領の制定。予定多治見市危険物規制規則、多治見市予防条例施行規則、多治見市違反処理規程及び遠隔移報システム等による火災通報の取扱要綱の改正。	T3
b	独自目標加算 (任意設定) 例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動 等	(目標設定)	(成果)	

組織名称	消防本部 救急指令課
補職名・氏名	課長 井口 哲

令和6年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標				達成度
目標		実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	
目標1	東濃5市消防通信指令事務共同運用及び他機関との連携協力体制の強化 消防指令センター設置及びに大規模災害時における他機関との連携協力体制の強化	1. 東濃5市による消防通信指令事務共同運用の実現 ①法定協議会及び準備委員会の管理運営 ②災害出動に係る計画編成の見直し ③高機能消防指令システムマスターデータ作成 ④消防支援情報システム（消防0A）の構築 ⑤消防指令センター建物建築工事 ⑥岐阜県及び他機関との調整 2. 岐阜県救急・災害医療情報システム（ぎふ救急ネット）緊急搬送要請機能入力訓練の実施	1. ①法定協議会本部（2/6）、幹事会（8月以降毎月）を開催し課題を整理。準備委員会へは進捗状況等を報告 ② 部内協議完了、共同指令システムの指令種別決定後に計画を全部改正し制定 ③専門部会（指令系、情報系、AVM系）で協議・作成、次年度も継続。④支援系専門部会で他課と連携して検討、次年度も継続 ⑤入札執行（5/8）、仮契約（5/16）、6月議会承認、安全祈願祭（8/29）実施。瑞浪市建設部局と合同で進捗管理 ⑥京都府中・北部協議会を視察（8/2）し情報収集。県庁消防課職員を協議会幹事会へ招へいし情報共有 2. 本市初の緊急搬送要請機能入力訓練を実施（12/25）	T2
目標2	救急業務のあり方の検討と救命率の向上 バイスタンダー市民を育成による救急体制の充実と救命率の向上	1. 救急隊員の育成強化及び新たな救急隊の研究 ①新規救急救命士の内部養成及び現職への資格取得 ②救急救命士及び一般救急隊員に係る教育訓練の管理 ③日勤救急隊の研究 2. バイスタンダーCPRの実施率向上（全国平均51.5%以上） 3. 小学6年、中学2年、高校1年、一般企業及びAED設置施設を対象とした救命講習の実施並びに予防救急等の広報 4. 高規格救急車（救急4号車）の更新配備 5. 応急手当推奨事業所の新規・更新認定 6. 市民病院医師との定期的研修・情報交換会開催 7. 救命処置指導隊の指導技術の向上	1. ①救急救命士内部養成候補者を4人選考し令和10年度までの育成計画に改正 ②一般救急隊員の教育を経験年数を基準とした段階的教育へ見直し、報告対象者を整理して教育訓練の効率化を図った ③部内WGを設け効果と実現に向けた課題を整理。職員採用等を人事課と再協議ののち、政策決定予定。2. 実施率62.5%（75件/120件）（全国平均51.5%以上） 3. 小学6年14回、中学2年14回、高校1年12回、一般企業及びAED設置施設208回に救命講習を実施 4. 入札執行（7/10）、仮契約（7/16）、9月議会承認、中間検査（2/14）予定、3月中旬運用開始予定 5. 新規0件・更新認定15件 6. 研修会1回、情報交換会9回実施 7. 勉強会8回開催	T2
目標3	迅速・確実な指令及び口頭指導の実施 119番入電時における迅速・確実な出動指令による救命率の向上及び災害拡大の防止	1. 口頭指導プロトコールに基づく適切な口頭指導の実施 2. 受信検証会の随時開催 3. 口頭指導検証会の開催（毎月開催） 4. 多言語対応三者間同時通訳、メール119、net119等の適切な運用 5. 高機能消防指令システム及び消防救急無線の適正な維持管理 ①住民情報、対象物・水利情報、支援データの更新 ②無停電電源装置等の交換、DC/ACコンバータ、高速避雷ユニット等の交換、非常用発電機消耗品交換	1. 70件実施 2. 勤務交替後に受信録音を確認・検証 3. 毎月末に開催 4. 多言語対応三者間同時通訳、メール119、net119等の適切な運用 5. ①4/1保守契約締結、住民情報、対象物・水利情報、支援データを適宜更新 ②全7事業中7事業（指令システム系3件、無線系3件、庁内設備系1件）契約締結、年度内全事業完了予定	T3
目標4	広域応援体制の充実強化 火災、救急及び地震等の災害出動における広域消防体制の充実強化	1. 大規模災害発生時の広域応援派遣調整 ①東濃ブロック内の緊急消防援助隊派遣調整 ②中部ブロック合同訓練への参加調整 ③岐阜県大隊訓練への参加調整 ④岐阜県広域消防応援派遣隊の調整 ⑤応援及び受援計画の管理 2. 緊急消防援助隊情報伝達訓練の実施（年4回） 3. 岐阜県防災ヘリ及びドクターヘリ等の効果的な要請 4. 大規模訓練調整会議にかかる各種訓練の実施	1. ①岐阜県大隊派遣計画一部改正に係る東濃ブロック内意見調整・集約 ②12/21・22開催合同訓練への参加隊調整実施 ③10/2開催岐阜県大隊訓練への参加隊調整実施 ④岐阜県広域消防応援派遣隊の調整 ⑤7/16・25に可茂消防通信指令課を視察、相互応援体制等確認・情報交換を実施 2. 4/24、6/27に実施 3. 該当事案を想定し要請方法等を適宜確認 4. 7/26会議出席、今年度の訓練実施要領を検討	T3
目標5	安全管理の強化及び個人情報保護 職場内の安全行動及び個人情報の漏洩防止	①5S+Sの徹底とおもてなしの向上 ②消防年報の発行 ③安全管理の徹底とヒヤリハット・事故報告を実施 ④無事故無違反の徹底 ⑤多治見市防災行政無線子局の運用 ⑥災害情報、気象情報等を関係機関へ配信 ⑦個人情報の適正管理等の徹底 ⑧救急安心センターぎふの運用 ⑨岐阜県防災情報システムの管理・運用 ⑩予算の適正な執行 ⑪火災、救急等の調査統計報告 ⑫東濃地域における救急関係の取りまとめ	①各自5S+Sを徹底 ②令和5年度版消防年報の発行（6月末） ③安全管理の徹底とヒヤリハット・事故報告を徹底 ④無事故無違反の徹底 ⑤無線広報を適切に運用 ⑥災害情報、気象情報等を関係機関へ配信 ⑦個人情報の適正管理等の徹底 ⑧救急安心センターぎふの周知 ⑨岐阜県防災情報システムの管理・運用 ⑩予算の適正な執行 ⑪サーベイランスを適切に報告 ⑫東濃地域における救急関係の取りまとめを実施	T3
b 独自目標加算 （任意設定） 例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動 等		（目標設定）	（成果）	

令和6年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

	多治見北消防署
補職名・氏名	署長 大野知己

組織目標兼管理職個人目標

目標	目標	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	達成度
目標1	火災予防の充実強化 火災ゼロを目指し火災予防の充実強化	1.違反是正指導及び立入検査、教育 ①重大違反対象物(工場等:4件)の改善、是正指導 ②特定防火対象物(第1種査察対象物:58件)で、防火管理者未選任、消防訓練未実施、消防用設備等点検結果未報告の改修率向上(100%) ③立入検査実施計画に基づく立入検査実施(252件) ④予防技術向上のための基本教育、実務者教育の実施 2.北署壁面及び多治見駅通路を使用した防災広報の実施 3.消防訓練指導動画のWeb活用 4.小学校の命を守る訓練時に消防隊による訓練披露(将来消防士志望の動機付け) 5.独居高齢者防火訪問の実施 6.防火対象物使用開始届に伴う立入検査の実施	1.①4件中4件は正完了 ②是正改修率100% ③252件中264件実施(実施率104.8%) ④基本教育10回、実務者教育8回参加 2.秋の火災予防運動週間に北署壁面、南北自由通路でのデジタル広報、救急車による音声広報を実施 3.消防訓練実施計画書提出時に遵守事項を用いて説明し、動画活用推進 4.精華4/19、小泉5/2、南姫4/17、根本6/12、共栄4/19、北栄4/11、池田4/26実施 5.9/3、10/8の定例会出席、小泉北栄地区計380件実施 6.28件中27件実施(残り1件は今年度中に実施)	T2
目標2	消防力の充実強化 各種災害等に迅速・確実・安全に対応するための消防体制の確立	1.消防力強化のため各種訓練の実施 ①署長査閲訓練の実施 ②可茂消防事務組合との連携訓練の実施 ③岐阜県防災航空隊との合同訓練の実施 ④開口部作成訓練の実施(ハリガンツールの検証) ⑤警防最前線及び中高層訓練の訓練 ⑥C(化学)災害対応訓練の実施 2.BC災害対応マニュアルの見直し・素案作成 3.火災性状について研究し研修を実施 4.全部改正後の小隊活動規程に基づく訓練実施及び見直し 5.緊急消防援助隊訓練参加 6.管内分団との合同訓練実施 7.水利点検の実施 8.資器材の適正な維持管理	1.①木造2階建て一般住宅火災想定訓練4/22、4/23に実施 ②11/11に可茂さつき分遣所で実施 ③屋外訓練は雨天中止。屋内訓練及び研修実施 ④10/3、10/4実施 ⑤警防最前線として強制進入研修・訓練を実施。中高層訓練を9/26、9/27に実施 ⑥2/19、2/20に実施 2.素案作成済2/19、2/20にC災害対応訓練実施し第3回警防担当者会議で改定予定 3.火災性状について研修及び訓練を実施 4.小隊活動規程改正に伴う研修、訓練を随時実施。見直し箇所を第3回警防担当者会議で改定予定 5.情報伝達、出動訓練を4/24、6/27、12/24実施 奥能登豪雨被害による緊急援助隊として9/21～10/2出動 6.11/15、11/20に実施 7.水出し点検を実施 8.適正な維持管理継続中	T2
目標3	救命率向上に向けた取り組み バイスタンダーの育成と救命率の向上	1.救急救命講習会の実施 ①管内の小学6生(7校)・中学2生(5校)・高校1生(1校)、町内会・事業所等を対象に救命講習会の開催 ②AED設置施設での救命講習会の開催 2.効果的な応急手当推奨事業所の更新を実施 3.救命士、救急隊員能力向上訓練の実施 4.自署及び他署の救急事案の検証 5.各種WG業務の遂行 6.救急資器材の適正な維持管理 7.救急車の適正利用の啓発	1.①115回2,345名に実施 ②AED設置施設での救命講習開催98回 2.メール申請変更により効果的に12事業所の更新認定実施 3.8/29、9/4に指揮隊合同多数傷病者訓練実施、11/12、19に署長査閲訓練実施 4.二次検証事案及び他署一次検証事案検証実施 5.割り当てられたWG員が各業務を遂行 6.毎月点検と計画的な予算執行で適正に維持管理実施 7.救急医療週間、講習時に広報し啓発実施	T3
目標4	災害対応能力向上と地域防災力の強化 地震等の災害に備え、自主防災組織の推進強化	①多治見市水防訓練及び多治見市総合防災訓練を関係機関と連携実施 ②街頭消火器の市民主体の点検と職員による維持管理 ③自主防災組織対象に防災訓練等の実施 ④防災倉庫及び資機材の点検管理を年1回実施 ⑤消火栓放水器具点検を実施 ⑥災害危険箇所調査を関係課と実施し職員へ周知 ⑦タイムラインの運用に基づく活動を実施	①水防訓練6/9、総合防災訓練9/7実施 ②街頭消火器点検(市民)報告後の維持管理随時実施 ③自主防災組織対象防災訓練2回実施、市民217名参加 ④企画防災課と連携し実施中(1月中旬に完了予定) ⑤点検完了(改修2カ所) ⑥6/7に関係課と実施 ⑦7/10にタイムライン検討会実施、運用に基づく活動を実施中	T3
目標5	職場の安全管理の強化と個人情報漏洩防止 災害現場等の事故防止及び個人情報漏洩防止の徹底	①5S+S、おもてなしの向上 ②ハラスメントの防止等安全で働きやすい職場環境の整備 ③庁舎内の安全・衛生一斉点検を毎月実施 ④公用車、私用車における無事故無違反の徹底 ⑤適切な車両管理の実施 ⑥訓練時、災害対応時における安全管理の徹底 ⑦災害活動時における職員のPTSD緩和対策の実施 ⑧個人情報の適正管理の徹底 ⑨グループ・安全・衛生会議を毎月実施 ⑩時間外勤務の削減 ⑪適切な予算管理と執行 ⑫体力錬成と熱中症対策を実施	①朝ミーティングやグループ会議で徹底 ②適時ミーティング、グループ会議で徹底 ③毎月実施 ④無事故無違反243日継続中 ⑤グループリーダーを中心に適切な車両管理実施 ⑥訓練前点検、訓練中の安全配慮、KYTトレーニングを実施 ⑦1次ミーティングを早期に実施 ⑧グループリーダーを中心に適正管理実施 ⑨毎月末に実施 ⑩12/31現在79時間削減 ⑪適切な予算管理を実施 ⑫夜間に自主トレ実施、訓練時には適切な水分、塩分補給を徹底	T3
b	独自目標加算 (任意設定) 例: 自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動 等	(目標設定)	(成果)	

令和6年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標				達成度
目標	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）		
目標1 火災予防の充実強化 火災ゼロを目指し火災予防の充実強化	1.違反是正指導及び立入検査、教育 ①重大違反防火対象物(工場等:27件)の改善、是正指導 ②特定防火対象物(第1種査察対象物:40件)で、防火管理者未選任、消防訓練未実施、消防用設備等点検結果未報告の改修率向上(100%) ③立入検査実施計画に基づく立入検査の実施(84件) ④予防技術向上のため基本教育、実務者教育の実施 2.小学校の命を守る訓練時に消防隊による訓練披露(将来消防士志望の動機付) 3.独居高齢者防火訪問の実施 4.命令履行期限経過対象物の催告(1件)後の是正指導 5.火災図上指導講習会の南署との合同開催	1.①29件中10件改善、19件是正指導 ②是正改修率100% ③84件計画中92件実施(実施率109%) ④基本教育15回、実務者教育9回参加 2.笠原小4/25、滝呂小4/19、笠原小中合同1/29訓練時実施、庁舎見学及びイベント協賛随時実施 3.107世帯実施 4.命令履行期限後は正完了 5.11/7実施	T2	
目標2 消防力の充実強化 各種災害に迅速、的確、安全に対応するための消防体制の確立	1.4名1隊先着隊消防強化のため各種訓練の実施 ①署長査閲訓練の実施 ②隣接消防本部(土岐市・瀬戸市)との合同訓練実施 ③指揮隊との合同訓練 ④中高層建物火災訓練の実施 ⑤BC(バイオケミカル)災害対応訓練の実施 2.大規模工場等自衛消防隊との合同訓練実施 3.高規格救急車(救急4号車)更新に伴う、準備と運用開始 4.小隊活動規程に沿った、活動習熟研修、訓練の実施 5.管内消防団との合同消防訓練及び研修会の実施 6.水利点検の実施及び警防資器材の適正な維持管理 7.火災調査体制充実と類似火災撲滅の火災予防PR 8.SNS、ホームページによる消防PR発信	1.①木造2階建て一般住宅火災想定訓練(5/14、23)実施 ②土岐市で林野火災対応訓練実施(12/10) ③南署と連携実施(8/22、9/27) ④中高層火災技術向上実施(9/26、27) ⑤特殊災害技術向上実施(2/19、20) 2.明和工業(9/6)、杉浦製陶(9/19)、コベルコ(9/27)実施 3.資器材導入及び配置の検討、3月中運用開始 4.小隊活動規程改正に伴う研修、訓練随時実施 5.第5方面隊と11/10実施 6.水利点検実施済、警防資器材維持管理継続 7.火災調査研修8回、工場等48施設火災予防PR実施 8.消防PR11回発信	T2	
目標3 救命率向上に向けた取り組み バイスタンダーの育成と救命率の向上	1.救急救命講習の実施 ①管内の小学6年生(2校)・中学2年生(1校)・町内会・事業所等を対象に救命講習会の開催 ②AED設置施設での救命講習開催 2.応急手当推奨事業所14事業所の更新認定 3.署長査閲救急訓練の実施(年2回) 4.老人福祉施設等へ情報伝達レベルアップ講習会の開催 5.笠原消防署夏休みイベント「笠原消防署開放デー」の開催 6.救急隊員に関する教育、訓練の実施 7.救急事案検証と事故、ヒヤリハットの周知徹底 8.救急資器材の適切な維持管理の実施	1.①36回開催、受講者892名 ②9回開催 2.6事業所更新認定済、8事業所3月更新 3.6/7、6/10、10/28、10/29実施(各グループ2回) 4.11/28開催、対象6事業所参加 5.救急・消防体験イベント7/20開催、親子54名参加 6.随時実施 7.特異事案検証21回実施、ヒヤリハット周知随時実施 8.日常、定期点検による維持管理の継続	T3	
目標4 災害対応能力向上と地域防災力の強化 地震等の災害に備え、自主防災組織の推進強化	①多治見市水防訓練及び多治見市総合防災訓練を関係機関と連携し準備及び実施 ②街頭消火器点検(市民)報告後の維持管理 ③自主防災組織対象に防災訓練等の実施 ④消火栓放水器具点検の推進と取扱い方法の周知 ⑤災害危険箇所調査を関係課と実施し職員へ周知 ⑥消防団員と地域との連携強化を推進	①水防訓練6/9、総合防災訓練9/7実施 2.点検報告完了、維持管理2月中終了 ③防災訓練等指導10回実施、参加者444名 ④指導8回実施 ⑤6/17実施、職員へ周知 ⑥自治会防災訓練指導において、消防団員と地域との連携強化を推進	T3	
目標5 職場の安全管理の強化と個人情報漏洩防止 災害現場等の事故防止及び個人情報漏洩防止の徹底	①5S+Sの励行 ②ハラスメント防止等安全で働きやすい職場環境の整備 ③緊急出動、署外業務における無事故、無違反の徹底 ④災害現場活動時の職員のPTSD緩和対策の実施 ⑤庁舎、施設維持管理の点検、修繕の実施 ⑥安全会議、衛生会議を毎月実施 ⑦訓練時、災害対応時における安全管理の徹底 ⑧適正な予算管理と執行 ⑨時間外勤務の削減 ⑩職場内における情報漏洩に対する注意喚起 ⑪個人情報の適正管理等の徹底	①適宜実施 ②適時ミーティング、グループ会議で徹底 ③事故発生後に徹底検証実施、無違反継続 ④災害現場帰署直後、隊長を中心に随時実施 ⑤日常週2回、定期年2回点検実施し適宜修繕実施 ⑥毎月1回実施 ⑦安全管理の徹底による事故ゼロ継続 ⑧適正な予算管理及び執行の実施 ⑨時間外勤務適正管理、前年比1.07%増加 ⑩常時監督体制の徹底 ⑪リーダーを中心に適切管理	T3	
b 独自目標加算 (任意設定) 例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動 等	(目標設定)	(成果)		